

ななかま



プリンストン日本語学校

平成27年度 No.20

平成27年 10月4日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



運動会

先週9月27日、平成27年度創立35周年記念運動会が子どもたちの明るい声の中で行われました。数



日前から心配された天気にも当日は恵まれ、また、ローマ法王訪米の交通規制も大きな影響がなかったようで一安心。何よりも、大きなけが

や事故が報告されず、子どもたちの笑顔に満ちた行事であったことがうれしい限りです。今年は記念運動会ということもあり、リー季里理事長からは、子どもたちの5年後そして35年後の姿の話を盛り込んだご挨拶をいただきました。35周年を記念して、Tシャツは色分けせず、記念Tシャツを含め白系統で統一された運動会。幼稚部のダンスの際には「35周年おめでとうございます」の大合唱も…。幼稚部のかわいらしい行進の「紅白玉入れ」から、お父さんお母さんたちの力強い「綱引き」まで、本当に熱気に包まれた運動会となりました。競技後半では児童・生徒応援席から「あ～か、あ～か」「し～ろ、し～ろ」の応援の音が響いていたことも印象深い出来事でした。そこはオリンピックスタジアムでもなければヤンキースタジアムでもなかったけれど、一人一人が一所懸命に取り組んだ姿からは、何とも言えぬ温かいものが胸の内からしみだしてきます。何か月も前から準備を進めていただいた運動会係の保護者の皆様、前日・当日に会場づくり・運営にご尽力いただいた保護者の皆様、子どもたちを最後まで応援していただいた保護者の皆様に、心より感謝いたします。そして、ボランティアで協力してくれた生徒の皆さん、一所懸命競技に取り組んだ児童・生徒の皆さん、素晴らしい運動会を、ありがとう。

自分の脳は変えられる？

「音楽、運動等その道のプロと呼ばれる人は、それらの能力をつかさどる脳の灰白質の体積が大きくなっていることが明らかになってきているそうです。では、私たちの能力は、生まれながらの脳の構造が決めているのでしょうか？」先日日本から送られてきた刊行物（日本教育界発行『日本教育』9月号）にこのような問いかけで始まる記事がありました。記事によると、国際電気通信基礎技術研究所の細田研究員らが、英語学習での脳の変化について行った実験結果が記されています。実験を簡単に言うと

英語を得意としない人たち24人に、4か月間英語の勉強をさせた結果、24人の英語能力（TOEIC）が30%上昇するとともに、脳の右前頭葉の一部が5%大きくなり、さらに脳の局所の連絡部分も強化される結果となった、ということです。その後、二人を除いて他の全員は学習をやめてしまったということですが、一年後、24人を再調査したところ、勉強をやめてしまった人は成績が元に戻ってしまうと同時に、脳の発達具合も学習前の状態に戻ってしまったということでした。この結果、学習を続けることで脳の神経回路は強化され、学習を怠ると強化された脳の機能が失われるということがわかりました。若い人ばかりでなく、成人してからも、頑張っで学習することで自分の脳を変えることができることを、この研究は明らかにしたことになります。まさに「継続は力なり」ですね。成程、かくいう私が「もりもりロックンロール」をかるうじて踊ることができたのには、そういうわけがあったのですね。

図書系の活動

10月11日より「お気に入りの本を教えてね」という企画が始まります。期間は1月31日まで。図書室のお気に入り、おすすめの一冊を選んで応募用紙に記入して提出すると、もれなく素敵な特製しおりと記念品をプレゼント。詳細は、本日配信された案内をお読みください。創立35周年を記念して、図書系の皆さんが知恵を絞って取り組んで下さっています。どうぞお子さんの参加を、促してあげてください。

運動会の写真販売予告

今年度の運動会の写真はオンラインでの販売となります。高画質の画像をプリントまたはデジタルダウンロードすることができ、クレジットカード決済となります。他のファンディングと同じく収益は全て学校に入ります。詳細は改めて運動会後にお知らせします。



今後の予定

◆運動会鉢巻・紅白帽子回収にご協力を

- ◇10月11日 授業参観・学級懇談会
1・2時間目=プリ小・中/中学部 3・4時間目=小3・4
- ◇10月18日 授業参観・学級懇談会
1・2時間目=小5・6 3・4時間目=小1・2